



県域 準絶滅危惧

吻端から尾鰭の基底まで黒色の太い縦条があり特徴的。縦条は未成魚がより鮮明。全長:約10cm

コイ科 ムギツク属

【全長】13cm

ムギツク

学名: *Pungtungia herzi*

分布域

福井県と濃尾平野以西の本州・四国東部・九州北部に分布する。

生息域

河川中流域の水草の繁殖する場所を好み生息する。



未成魚は背鰭と尾鰭が鮮やかな橙色。

体形は細長く頭部は縦扁する。口は吻端にあり小さい。口髭は1対でやや長い。体色は背面側が茶褐色で腹部はやや淡い。吻端～尾鰭基底まで顕著な黒色縦条がある。全長が10cmを超えると縦条はやや不明瞭になる。幼魚は背鰭と尾鰭が鮮やかな橙色。食性は植物食に偏った雑食性で付着藻類を主に底生動物などを食べる。産卵期は5～6月。大きな石や岩の下面に粘着卵を産む。ドンコなど魚食魚の産卵床(室)に侵入して産卵し、その親に卵を保護させる(託卵)行動が知られる。

水槽での飼育は容易。餌は配合飼料や冷凍赤虫に慣れる。丈夫だが、成魚はやや臆病で水槽の環境に慣れるのに時間が必要。

在来種

移入種

純淡水魚

※ 日本海側自然分布の北限は福井県の北川水系で、本県では分布上重要種といえる。県内の生息地・生息数は多くない。※ 北潟湖水系や九頭竜川水系の一部にも移入されたものが定着する。